# 令和３年度
# 第68回 教育研究会のご案内（２次案内）

令和３年１２月吉日

関係者各位

向寒の候、皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、本校の教育研究の推進にご理解とご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、令和３年度教育研究会を、下記の通りオンラインにて開催いたします。本学は中学校・高校ともに各学年４クラス規模の学校で、中学生のほとんどが高校に進学いたします。この一貫的な学びの場では、学びの連続性・継続性が必要であり、校種間・教科間で連携をすることが不可欠です。本教育研究会では、昨年度に引き続き、附属天王寺ならではの一貫教育とは何なのか、その可能性と課題を検証いたします。奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

大阪教育大学附属天王寺中学校長
大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎主任　田中　満公子

## 研究主題

『附属天王寺型一貫教育ー何から始める？連携の視点を探るー』

| 日程 | 令和４年１月29日（土） | 時程 | 全体会 | 教科別分科会 | 講演 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 9:00～9:15 | 9:20～10:50 | 11:00～12:30 |

## 講演

### 資質・能力の育成を目指す教科横断的な学習としてのSTEM／STEAM教育

国立教育政策研究所　教育課程研究センター　基礎研究部

松原（まつばら）　憲治（けんじ）　先生

| | |
|---|---|
| 主要略歴 | 山口県の公立中学校及び県立高等学校、国際協力機構（JICA）青年海外協力隊（理数科教師）、JICA技術協力専門家（理科教育、授業研究）を経て、2009年 国立教育政策研究所　教育課程研究センター基礎研究部　研究員、現在　総括研究官 |
| 学　位 | 博士（教育学）、Diploma of Teaching of New Zealand 高等学校一種免許（理科、英語） |
| 所属学会 | 日本科学教育学会、日本理科教育学会、日本教科教育学会、日本比較教育学会 |

**後援**　大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会　（申請中）

**主催**　大阪教育大学附属天王寺中学校、大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎

**参加費無料**

# 申し込みからの流れ

## 申し込み

1. 右のQRコードから、もしくは学校ウェブサイト（下記）にアクセスいただき、お申し込みフォームにご入力ください。今回はWebからのお申し込みのみ受け付けます。お申し込みいただいた方には、授業動画の閲覧方法をメールでお知らせいたします。お申し込みの締め切りは１月21日（金）です。
2. 授業動画の公開開始は12月21日（火）です。事前に授業動画をご覧いただいてから、１月29日（当日）の研究会にご参加ください。

## 授業動画の視聴に関するお願い

● 動画公開後、各自で授業動画を視聴してください。
動画視聴の際には、以下の行為を行わないようお願いいたします。
- ✓ 動画（音声を含む。以下同様）をダウンロードすること
- ✓ 本校が不正と認める方法で動画にアクセスすること
- ✓ 動画やキャプチャ画像をSNSなどWeb上にアップロードすること
- ✓ 動画を有償無償問わず第三者に譲渡または貸与すること
- ✓ 動画の全部または一部を改変・改編・翻案・翻訳等し、二次的著作物を作成すること
- ✓その他の不正使用すること

● 必ず研究会当日までに視聴していただくようお願いいたします。（各授業の詳細は内面をご覧ください）授業動画に関するご質問やコメントは、フォームからお送りいただけます。

## 研究会への参加

研究会はZoomで開催いたします。参加方法は後日メールでお知らせします。当日は08：50より入室可能です。所属とお名前を表示いただきご参加ください。

## 事後アンケート

研究会開催後にメールでお送りする事後アンケートへのご協力をお願いいたします。


問い合わせ先

**大阪教育大学附属天王寺中・高等学校研究部**

〒543-0054　大阪市天王寺区南河堀町 4-88
【TEL】06-6775-6045・6047　【FAX】06-6771-2718
【E-mail】kenkyu@tenko-g.oku.ed.jp
【URL】https://f.osaka-kyoiku.ac.jp/tennoji-j/kenkyu/kenkyukai/

# 教科別分科会

## 国語　共に笑い共に学ぶ

**【中 学】 コトバで遊ぶ、遊んで学ぶ“iSSUE”（中学校３年生　国語）**
授 業 者：福西　昌平
授業概要：言葉を題材としたカードゲームを製作する。４種 ×12 組の言葉たちの無限の可能性。言葉自体を議論の対象とし、言葉を多角的に分析しながら、言葉の彙集を感じ取りながら、他者を愉しませるゲームをクリエイトすることを課題とする。そのとき、学習者たちの言葉の世界は繋がり、広がり、深まっていくことを期待している。

**【高 校】「生徒による授業」にチャレンジ（高校２年生　国語）**
授 業 者：店田　卓郎
授業概要：「ミロのヴィーナス」「現代日本の開化」を、グループごとに各段落を分担して授業するというもの。発表ではなくて「授業」なので、発問からスタート。そして解の提示ではなく、コミュニケーションによって生徒の口から解が発せられるように導いていくこと、を要求した。彼らにとって、一つの文章をこれほど時間をかけて読み、自問し、協議する経験は他にあり得ない。発問と解釈と授業における創意工夫を期待している。

**指導助言者：小路口　真理美（大阪教育大学）　司会者：岩崎　錬（本校教諭）**

## 英語　英語から広がる創造的な学び

**【中 学】 英語から広げ、繋がる創造的な水の学習（中学校１年生　英語）**
授 業 者：田中　真理子
授業概要：CLIL をベースとし、理科素材とも重なる水問題を扱い、英語での学習を理科・道徳・美術へと広げる。持続可能な社会の担い手となる生徒たちが、水問題を我が事として考えられる授業デザインとした。アフリカでの水汲みが題材の自作教材を用いて、内容に焦点を当てながら言語形式・意味・使用場面を理解し、使えるようになることを目指した。単元末には小学生向けの水に関する絵本を創作する。

**【高 校】 生徒の好奇心を広げる教科横断の取り組み（高校１年生　英語表現Ⅰ）**
授 業 者：乾　まどか
授業概要：CLIL の特徴である４つの C（Content, Communication, Cognition, Community）を基本に“Learn as you use, use as you learn”「言葉は使う中で学ぶべきであり、学びながら使えるようになる」の実践研究を行う。2017 年 10 月ハワイ天文学者が観た Strange Object “Oumuamua”を英語、数学、物理、地学、音楽で展開する。

**指導助言者：池田　真　教授（上智大学）　司会者：加藤　晃浩（本校教諭）**

## 社会　新学習指導要領における探究学習

**【中 学】 現代を生きるためのリテラシー　～憲法と人権保障～（中学校３年生　公民）**
授 業 者：乾　真佐子
授業概要：「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」の学習で得た基本的な知識を、実際の社会生活の場面に置き換えて考えさせることにより、権利と義務、責任との関係を理解させ、権利行使のために必要なリテラシーを身につけることをねらいとする。また、今回のコロナウィルス感染症の拡大などグローバル化、高齢化がすすむ現代社会で実際に生じている課題に対して社会貢献する方法も考えさせたい。

**【高 校】「公共」を意識した授業実践　～理論に基づく諸課題の探究～（高校１年生　政治経済）**
授 業 者：斎藤　大樹
授業概要：「公共」では「諸課題を考察する際の視点となる理論を、資料から読み取り、理論を課題解決と関連付けること」を目標の一つとしている。本授業ではこの目標を意識し、第一に思想家の原典から、現代の制度を支える理論を読み取り、解説としてまとめることで、生徒による「資料集」を作成する。第二にその「資料集」を参考に、理論に基づき、現代の諸課題の解決を提示することを目指す。

**指導助言者：伊井　直比呂　教授（大阪府立大学）　司会者：正垣　裕介（本校教諭）**

## 理科　探究的な活動から教科横断的な学習を探る

**【中 学】 物理分野における探究的な学習とその効果（中学校３年生　理科）**
授 業 者：篠原　孝雄
授業概要：「運動とエネルギー」の単元において、探究的な学習を実現していくための発問を投げかけることで、生徒がどの教科の見方･考え方を働かせながらその問いを解決していくのか、生徒の対話に着目して分析する。また、探究的な学習により、“生徒の理解の深まり”や“生徒にどのような力が培われたのか”についても検証していきたい。

**【高 校】 モデル化を活用した、生態系分野の授業実践（高校３年生　生物）**
授 業 者：木内　葉子
授業概要：「生態系」の学習は、多数の要素が複雑に関係し、原因と結果を関連づけることが難しい分野である。本授業において生徒たちは、環境の変化と個体の形質の多様さについてモデル化し調べる。探求的な活動の過程において、生徒たちが他教科での学びを生かしながら課題を整理し、解決することを目指す。

**指導助言者：仲矢　史雄（大阪教育大学）　司会者：藤井　宏明（本校教諭）**

## 技術･家庭　防災の視点を獲得させる教科横断的なプロジェクト型学習の提案

授 業 者：安福　華世（中学校１年生　家庭分野）
授業概要：防災学習の観点から他教科との関連を図り、教科横断的な学習をめざす。また、地域関係機関との連携などの一連の学習を通して、自然災害等の現状、原因及び防災・減災について理解を深め、将来に直面するであろう災害に対して、的確な思考・判断に基づく意思決定や行動選択と自然災害に対する日常的な備えができるように指導するプロジェクト型学習を提案する。

**指導助言者：碓田　智子（大阪教育大学）　司会者：上田　学（本校教諭）**

## 道徳　キャリア教育を視野に入れた道徳科の授業

授 業 者：今木　重行（中学校２年生　道徳）
授業概要：令和元年度から中学校でも道徳が教科化し、より内容の充実が求められている。その一つとして学習指導要領「特別の教科道徳」にもあるように、特別活動などにおける多様な実践活動や体験活動も道徳の授業に生かすことが出来るように考えていかなくてはならない。今回発表する学年では年間を通してキャリア学習を行っており、キャリア教育を視野に入れた道徳科の授業を展開していきたい。

**指導助言者：服部　敬一　教授（成蹊大学）　司会者：首藤　友子（本校教諭）**

## 自由研究／課題研究　探究活動に主体的に取り組む生徒の育成

**【中 学】 ゼミ活動を中心とした研究指導　～中学校３年間の指導課程～**
授業概要：1947 年から始まった本校の「自由研究」は、令和元年度よりそれまでの指導体制を一新し、中学校３年間で１つの研究を完成させ、論文執筆までを目標にした。基本的な探究のプロセスを学び、論理的・批判的思考力を養うために設定した３年間のカリキュラムと、ゼミごとの専門的な指導を中心に、「自由研究」の実践とその成果を紹介する。

**【高 校】 課題研究に主体的に取り組む生徒の育成**
授業概要：次年度より、「理数探究」が始まる。課題研究の教育効果は、生徒の主体性と関連している。本校の SSH の課題研究では、主体的に活動が進められるように、異学年集団での取組みやテーマの設定時のワークシートの活用などを行っている。SSH での活動内容と共に、これらの工夫について紹介する。また、中学校での自由研究が、高校の課題研究に及ぼす効果についても扱う。

**指導助言者：向井　大喜（大阪教育大学）**